

Si-R220D V35.08 変更内容一覧

□機能追加・改善

No.	項目	追加内容
1	シェーピング機能	実回線の送出速度を考慮した最大送出レートの調整を行い、シェーピング設定レート上限の精度改善を行いました。

□修正内容

No.	影響範囲	内容
1	V35.04～V35.06	DHCPリレーエージェント機能使用時にlan定義の動的定義変更を実施すると、以降リレー動作を行わなくなる場合がある。
2	V35.04～V35.06	帯域制御設定でACL定義と旧形式定義とが混在した設定を行った場合に、定義の削除を行うと装置が再起動する場合がある。
3	V35.04～V35.06	IKEv1 Dead Peer Detection(DPD)有効時に、IPsec/IKEパケットが送出されるインタフェースがダウンしてもDPDによるSA解放が行われない。
4	V35.04～V35.06	Webブラウザにて本装置へアクセスする際に、画面が表示されない場合がある。
5	V35.04～V35.06	同一装置上にて動的VPNサーバクライアント設定が共存する環境において、動的VPNクライアント設定の動的定義変更を繰り返し中に“show dvpn server user”コマンドを実行すると装置が再起動することがある。
6	V35.04～V35.06	接続先監視時間設定の動的定義反映による削除を行うと、監視時間が1秒間隔となる。
7	V35.04～V35.06	テンプレート着信機能でのCLID相手判定が正しく行われず、接続できなくなることがある。